

神は、曲がりくねつた線で、真っ直ぐに書く——

(ポルトガルの謡)



ポール・クローデル生誕150周年記念

繡子の靴

四日間のスペイン芝居

上演時間8時間の超大作!

舞台は、大航海時代の黄金世紀スペイン。

美しき人妻と新大陸制覇の野望に

燃える征服者との禁じられた恋が、ここに甦る。

会場:静岡芸術劇場

日時:2018年6月9日(土)・10日(日) 11:00開演 20:15終演予定

両日とも「一日目」から「四日目」までの一挙通し上演(途中約30分の休憩が3回あります)

※本作は四部構成にて、スペイン・バロック演劇の慣習により「一日目」「二日目」「三日目」「四日目」と題されています。

作:ポール・クローデル『繡子の靴』(岩波文庫版)

翻訳・構成・演出:渡邊守章 映像・美術:高谷史郎 照明:服部 基

音楽:原 摩利彦 / 衣装:萩野 緑

初演:2016年12月 京都芸術劇場春秋座

主催:SPAC-静岡県舞台芸術センター 共同主催:京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



協力:(株)タケナカ、演劇集団円、空中庭園

写真:守屋友樹



SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER
芸術総監督 宮城聰
スマップル 静岡県舞台芸術センター

日仏の演劇交流を長年にわたり牽引してきた渡邊守章が、研究者として演出家としての全精力を傾けた集大成。現代演劇史に燐然と輝く金字塔『繻子の靴』、スケールの大きさゆえ日本上演は困難とされてきた超大作が、京都での歴史的な初演の成功を受け、静岡で再び上演されます。豪華スタッフ、そして宝塚・伝統芸能・現代演劇から多彩な俳優陣が、観客を“世界大演劇”の旅へといざいます。

繻子の靴

あらすじ

大航海時代の16世紀末。

アフリカ北西海岸の総司令官ドン・ペラージュの美しき妻ブルエーズは、新大陸制覇の野望に燃える騎士ロドリックと出会い、互いに強く惹かれ合う。年老いたペラージュはその恋心に気付き、わざと妻を禁じられた道へと誘惑し、ブルエーズは苦悩する。夫の死後、ブルエーズはアフリカ西海岸の守備のため、カミーユとの再婚を選ぶ。彼女を想い続けるかつての征服者ロドリックは、スペイン国王の寵愛を失い、日本に渡り…。

profile ポール・クローテル

20世紀フランスの著名な劇詩人・外交官。1921(大正10)年より約5年間、駐日フランス大使を務める。滞日中、関東大震災に罹災しながらも代表作『繻子の靴』を完成。主な作品『黄金の頭』、『真昼に分かつ』、日本文化論『朝日のなかの黒鳥』など。



Photo from the Library of Congress

profile 渡邊守章

演出家・フランス演劇研究家。訳書『繻子の靴』(岩波文庫2005年)にて毎日出版文化賞、日本翻訳文化賞、小西財団日仏翻訳文学賞受賞。他に『マラルメ詩集』(14年)等訳書・著書多数。主な演出作品『ラシヌ『フェードル』、ジュネ『女中たち』、ミュッセ『ロレンザッヂ』など。



出 演

剣 幸／吉見一豊、石井英明、阿部一徳(SPAC)、小田 豊、豊富 満、

瑞木健太郎、牧山祐大(SPAC)、吉植莊一郎(SPAC)、若宮羊市(SPAC)、

片山将磨、山本善之／武田 眞、岩澤侑生子、岩崎小枝子、鶴坂奈央、川谷亜縫紗／

藤田六郎兵衛(能管)／野村萬斎(映像出演)

チケット

SPACの会 会員先行予約開始

4月15日(日)10:00

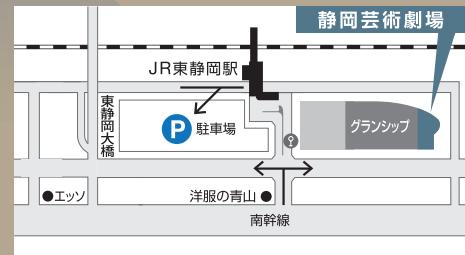
一般前売り開始

4月22日(日)10:00

アクセス

静岡芸術劇場

静岡市駿河区東静岡2丁目3-1
(グランシップ内)



お問い合わせ

SPAC-静岡県舞台芸術センター

TEL:054-203-5730 FAX:054-203-5732

E-mail: mail@spac.or.jp

[SPAC公式サイト] www.spac.or.jp

[Twitter公式アカウント] @_@SPAC_

[Facebook公式ページ] SPACshizuoka

休憩時に軽食の販売をいたします。詳しくは公式サイトへ。